

あすかの 風景の 原

平成30年度 春期特別展

高市村島荘図(部分) 明日香村所蔵

かゝるもの、
がわからないもの。

つかしい、あたらしい。かこと、みどり。時とちり
参う あすかの原風景。

PAST LANDSCAPE IN ASUKA

2018.
4/27 FRI
7/1 SUN

開館時間 月曜日(4月30日)月、連休、5月1日(火)は開館
午前9時~午後4時30分(入館は4時まで)
入館料 一般270円(170円)、大学生130円(90円)
65歳以上(年齢のわかるもの)は無料
高校生及び18歳未満、
奈良県民(県民証)は半額

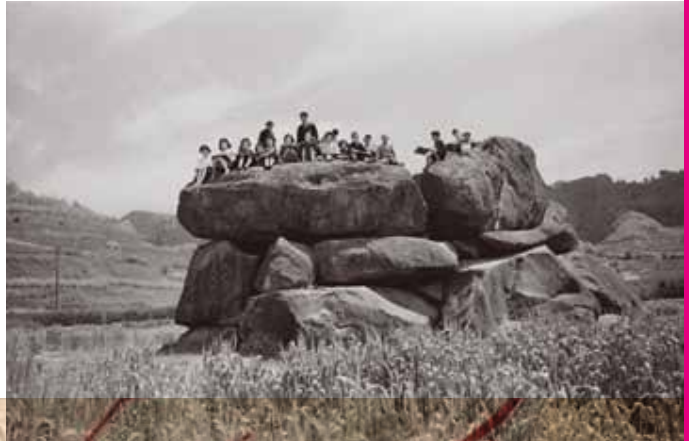
主催 | 独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館 協力 | 入江泰吉記念奈良市写真美術館 後援 | 文化庁、明日香村、近畿日本鉄道株式会社

奈良文化財研究所 飛鳥資料館



▲奈良文化財研究所「飛鳥の集落」1956年

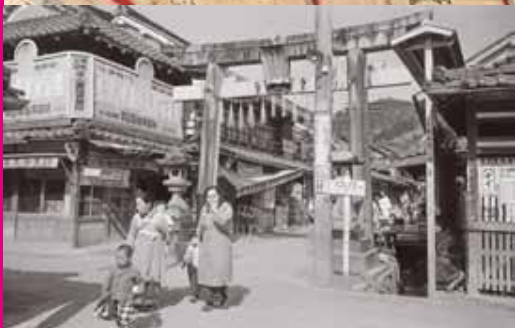
飛鳥時代の遺跡と現代の農村の暮らしが一体となった**明日香村**には、「日本の原風景」とも言われる眺めが広がっています。この**歴史的風土**を守るために人々が立ち上がってからは、ほぼ**半世紀**が経ちました。この間、村内では懐かしい農村風景が保たれながらも、**集落の人口構成の変化**や**道路の開通**、**発掘調査の進展**や**遺跡の整備**などにより、少しずつ**景色**がうつつりかわってきています。



▶入江泰吉「石舞台」1951年

江戸時代から近代にかけての飛鳥では、古代の石造物や古墳などが**歴史家の注目を集める**一方、飛鳥の小盆地とその周辺には、当時の日本ではあたり前の農村の景色が広がっていました。近代の地図や、昭和の発掘調査時に撮影された写真などからは、飛鳥ブームが巻き起こる以前の「**あすか**」の**原風景**がうかがえます。今回の展覧会では、これらの**地図や古写真**などの貴重な資料をもとに、明治時代から昭和前半にかけての飛鳥の集落の様子を紹介し、この展覧会が、かつての村の姿をよりかえり、**未来**に伝えていく契機となれば幸いです。

岡大字地籍図(部分) 明日香村岡大字所蔵



▲左：入江泰吉「阿寺界限」1953年頃 ▶右：入江泰吉「飛鳥寺発掘調査」1956年 入江泰吉作品は全て入江泰吉記念奈良市写真美術館所蔵



【お問合わせ・イベント申込】
〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山601
電話・0744-543561
E-mail info.shiryokan@nabunken.go.jp
HP http://www.nabunken.go.jp/asuka

＜申込方法＞
Eメールまたは往復はがきにて以下の必要項目をご記入の上、「**展覧イベント参加希望**」と明記して、5月6日(日)までにお申込みください(往復はがきの場合は、当日消印有効)。
必要項目▶①代表者の氏名・年齢 ②代表者の郵便番号・住所 ③代表者の電話番号 ④その他の参加者全員の氏名・年齢(一回の申込で代表者を1人で4名まで申込できます)。
*お申込後、2週間程度で返信が届かない場合は、ご連絡ください。
*メール申込の方は、@nabunken.go.jpからのメールを受信できるように設定してください。

●ウオーケイイベント
国際博物館の日 記念事業
「**古写真・古地図と歩く飛鳥**」
日時—5月25日(金)
午前11時～午後3時30分(予定)
事前申込制(先着順)／定員15名／参加無料
(雨天の場合は6月1日(金)に順延します)
入江泰吉や奈文研が撮影した昭和初期の写真や、近代の地図をみながら、飛鳥の変遷をたどるウオーケイイベント。



●ギャラリートーク
日時—5月1日(火)、6月2日(土)、
ともに午後2時～(事前申込不要／要入館料)

【交通案内】
○近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から
▼かみバス(周遊)「明日香奥山・飛鳥資料館西」下車
○近鉄・JR桜井駅から
▼石舞台行きバスで「飛鳥資料館」下車
(駐車場)無料：普通車11台分(都合により閉鎖の場合も)

